

## 部活動地域移行・地域連携に関する意識調査報告書【概要版】

(調査対象：市内小学校5・6年生の児童及びその保護者、市内中学校1・2年生の生徒及びその保護者、市内中学校の教職員)

### 1 調査目的

部活動の地域移行・地域連携にかかる児童生徒、保護者、教職員の意識を把握して、今後の取組に生かしていくため。

### 2 調査対象

- (1) 市内小学校5・6年生の児童(4,083名)及びその保護者
- (2) 市内中学校1・2年生の生徒(4,217名)及びその保護者
- (3) 市内中学校の教職員(432名)

### 3 調査方法

上記(1)(2)の児童生徒：教職員の指導のもと、タブレット端末を使用してURLやQRコードからのWeb回答

上記(1)(2)の保護者、教職員：紙や電子メールで案内したURLやQRコードからのWeb回答

### 4 調査期間

令和6年2月9日(金)～令和6年2月21日(水)

### 5 回答状況

対 象	配付数	回答者数	回収率
小学校5・6年生の児童	4,083	2,632	64.5%
中学校1・2年生の生徒	4,217	2,901	68.8%
小学校5・6年生の保護者	4,083	919	22.5%
中学校1・2年生の保護者	4,217	681	16.1%
中学校の教職員	432	203	47.0%
合 計	17,032	7,336	43.1%

### 6 回答からわかった主なこと

(1)児童(小学5・6年生)

- ①約70%の児童がスポーツ活動・文化芸術活動を行っている。
- ②スポーツ活動・文化芸術活動を行っている児童のうち、66.7%の児童が平日の部活動への参加を希望している。また、それらの活動をしていない児童でも、半数以上が平日の放課後に部活動に参加したいと考えている。
- ③平日の部活動に参加したいと考えている児童は63.4%いるが、休日の部活動に参加したいと考えている児童は、33.7%にとどまっている。
- ④部活動、地域クラブ活動に期待していることは、体力や技術の向上、友だちを増やすなどの人間関係を広げること、大会等で良い成績をとることを挙げる児童が多い。
- ⑤部活動、地域クラブ活動で気がかりな点は、勉強との両立、活動時間や休みに関すること、人間関係の構築を挙げる児童が多い。

## (2)生徒（中学1・2年生）

- ① 97.7%の生徒が部活動に所属している。また、40.7%の生徒が地域クラブ活動に参加している。
- ② これからも平日の部活動に参加したい生徒の割合は72.9%と多い。一方で、休日の部活動参加希望は、平日のそれに比べて約10%下がっている。
- ③ 部活動、地域クラブ活動に期待していることは、体力や技術の向上、大会等での成績向上などの競技力等の向上を多く挙げている。また、友だちや仲間との人間関係の構築や拡大を多く期待している。
- ④ 部活動、地域クラブ活動で気がかりな点は、学業との両立を挙げる生徒が最も多い。次いで、活動時間の長さを心配している。地域クラブ活動においては、金銭的な負担や移動手段を心配する回答が特に増えている。

## (3)児童の保護者（小学5・6年生）

- ① 部活動に期待していることとして、約7割の保護者がチームワークや規律を身につけることを挙げ、次いで生活の充実、生徒同士の交流やレベルにあった活動の実施が多く挙げられている。
- ② 地域クラブ活動に期待していることは、チームワークや規律を身につけることが一番多く（53.9%）、次いで技術力の向上、生活の充実、専門性の高い指導、レベルにあった活動が多く挙げられている。
- ③ 部活動、地域クラブ活動ともに、気がかりな点は、活動場所への送迎の負担が最も多く、次いで部活動では活動時間の長さ、学業との両立、地域クラブ活動では会費等の金銭的な負担、活動時間の長さが多く挙げられている。
- ④ 部活動でも地域クラブ活動でも、会費等の費用は3,000円以下が妥当と考える保護者が最も多い。地域クラブ活動の費用では、5,000円以下と考える保護者の割合が部活動よりも9%ほど増えている。

## (4)生徒の保護者（中学1・2年生）

- ① 部活動に期待することとして、チームワーク・規律の涵養、学校生活の充実などを多く求めている。次いで技術力の向上、生徒との交流、レベルにあった活動になることを望んでいる。
- ② 地域クラブ活動に期待することは、子供の技術力の向上、専門性の高い指導を受けさせたいと多く考えられている。また、チームワークや規律を身につけさせたいと考える割合も高い傾向にある。
- ③ 部活動の気がかりな点は、学校外の活動となった際に子供を送迎する負担感が強く、次いで指導者の指導方針や学業との両立、活動の時間帯や長さが挙げられている。
- ④ 地域クラブ活動の気がかりな点は、学校の部活動と同様に、送迎の負担感が回答のトップで、次いで金銭的な負担、活動の時間帯や長さが挙げられている。
- ⑤ 部活動、地域クラブ活動ともに、会費は3,000円以下が妥当と答える割合が最も多い。地域クラブ活動では、5,000円以下と答えた保護者の割合が、部活動に比べて13%ほど増えている。

## (5)中学校教職員

- ① 部活動の指導状況として、もともと競技・活動経験のない部活動を担当している教職員は半数近くおり、経験したことがある教職員数を上回っている。
- ② 部活動の顧問をしていて負担に感じることとして、休日の指導や大会引率、平日の勤務時間を超える指導、競技・活動経験のない部活動の指導等について多く挙げられている。
- ③ 兼職兼業の許可を得て自身も外部での指導に関わりたいと考えている教職員は、15%に留まり、66%の教職員は行うつもりはないと考えている。